

# 一般質問に立ち提言・質問

9月定例会では一般質問に立つ機会をいただき、県の施策に対し10項目について提言・質問を行いました。本号ではその中から2つ「県立高等学校の学食について」「地元問題について－大場川上流排水機場のポンプ増強について」、私が質問で主張した内容を報告します。



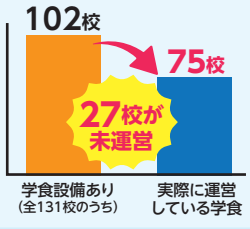
私の質問に対し答弁する大野元裕知事

## 県立高校の学食を守り、復活させよう！

**高校生の学びと成長を支える**
**大切な昼食を、これからも**

### 県立高校の学食の現状

全131校のうち、学食用の設備があるのは102校ですが、実際に学食を運営しているのは75校まで減少しています。




県立高校の再編整備の影響を除いても…
**令和3年度から今年度までに11校減少**

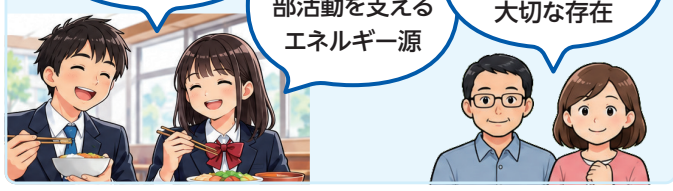
### なぜ学食が減っているの？

- 生徒数の減少
- 食材費の高騰
- 人件費の高騰

採算を確保できず事業者が撤退する事例が全国的に相次いでいます



### 高校生にとって学食はとても大切です



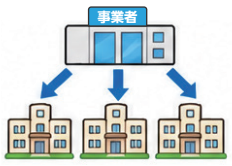

### 考えられる支援・取組の例　学校現場に任せるだけでなく、教育委員会が主体となり、積極的に取り組むべきです。

**1 事業者への支援の拡充**



- 行政財産使用料の免除に加え、光熱水費など、事業者負担の見直しなど、一定の条件を満たす事業者への支援を検討

**2 複数校の一括運営**




- 一つの事業者が複数校をまとめて運営する仕組みを検討し、事業の安定化を図る

**3 市町の給食センターからの配送**




- 給食センターに調理能力の余力があれば、その地域の県立高校にも配送
- 既存の公共施設の有効活用にもつながる

**4 多様な運営形態の検討**




草加東高校では障害者就労支援の企業がコンビニエンスストアを運営開始

- 生徒にも好評とのことですが、基本的には学食の存続と復活です。このような事例も参考にしながら、教育委員会が主体となり解決策を検討すべきです。



**県立高校の学食の存続・復活・代替策を教育委員会が主導して、積極的に取り組むことを求めます！**




**令和8年8月**
**千葉豪雨・台風25号**

千葉県をはじめ各地域で甚大な被害が発生しました。



**令和5年6月の大雨**

三郷市を含む近隣の6市1町で約4,000件を超える浸水被害が発生しました。



こうした状況から、
地域住民の水害に対する
危機意識は
一層高まっています。



## 大場川上流排水機場のポンプ増強で、より早く、より経済的に治水安全度の向上を！

**大場川上流排水機場（現在の施設）**




**CHECK ポンプ増強が有効と考えられる理由**

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 早期の整備が期待できる | 調節池に比べ、用地確保の必要が少なく、比較的早期に整備できる可能性があります。 |
| 2 | 経済的な効果が期待できる | 大規模な用地取得や造成工事が不要で、整備費用を抑えられる可能性があります。 |
| 3 | 治水安全度の向上 | 排水能力の強化により、浸水被害の軽減が期待できます。 |

**ポンプ施設にはリダンダンシー（予備能力）が必要です**




ポンプ施設は定期的な点検を行っていても、予測不可能な不具合が発生する場合があります。予備能力の確保が重要です。

### 調節池とポンプ増強の比較（イメージ）

**調節池の整備**
**（河川整備計画に位置づけ）**

- 用地確保が必要
- 整備費用が大きい
- 完成までに時間を要する



**大場川上流排水機場のポンプ増強**

- 既存施設の活用が可能
- 新たな用地取得が不要
- 比較的早期の整備が期待できる
- 経済的な整備が期待できる



待ったなしの課題です！

**大場川上流排水機場のポンプ増強を早期に！**

**流域が一体となった治水対策により、三郷市をはじめ地域の安全・安心を確保しましょう!!**